九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

次世代SoCプラットフォームの開発 : SysteMorphとRedefis

吉松, 則文
福岡県産業・科学技術振興財団福岡知的クラスター研究所

https://hdl.handle.net/2324/9142

出版情報：SLRC プレゼンテーション, 2006-07-19. 九州大学システムLSI研究センター
バージョン：
権利関係：

次世代SoCプラットフォームの開発
～SysteMorphとRedefis～

2006年7月19日

福岡県産業・科学技術振興財団
福岡知的クラスター研究所
吉松 則文

次世代SoCプラットフォームの開発 ～背景～

SoC (System-On-a-Chip)の高性能化、高機能化とSoCのコストへの対応

- 製造コスト
  - 半導体プロセス技術の微細化による、マスク費用、プロセス費用の上昇
  - 高集積、高機能、高性能なSoCのテスト費用の上昇
  - 多品種少量生産による開発投資の非効率さに伴うコスト高
- 設計コスト
  - SoCの高集積化、複雑化による開発コストの上昇
  - 市場化時期を逸しない開発、短TAT(Turn-Around-Time)化の要求による開発コストの上昇
- 運用コスト
  - 高信頼性化、耐故障化への対応
  - 消費電力

高性能化、高機能化しながら、こられSoCに関わるコストに対応可能なSoCプラットフォームの実現

SoCプラットフォーム

■ SoC

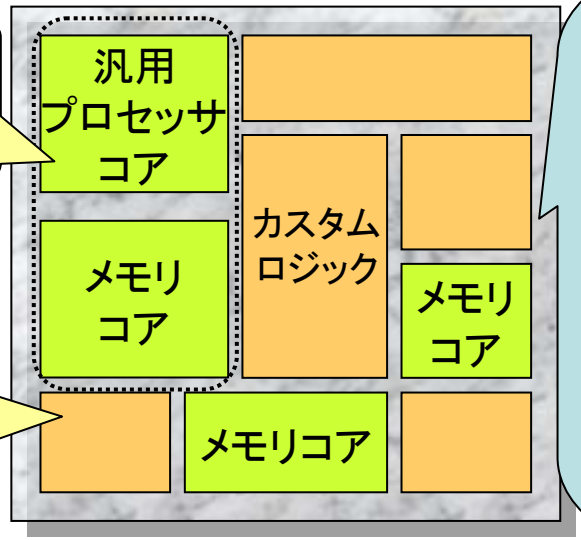
システムを構成する各種機能のうち，汎用プロセッサ上では、性能上の理由で実現出来ない機能をカスタム・ロジックとしてチップ上に集積

■ プラットフォーム・ベース設計

「カスタム・ロジック」の違いに拠らない「共通の土台」、プラットフォーム上で「カスタム・ロジック」を設計

汎用機能の実現法
- 汎用プロセッサ＋ソフトウェア

カスタムロジックの設計に集中
・短TAT化



SoCプラットフォーム

プロセッサ+ソフトウエア
・**CELL** (ソニー/東芝/IBM)

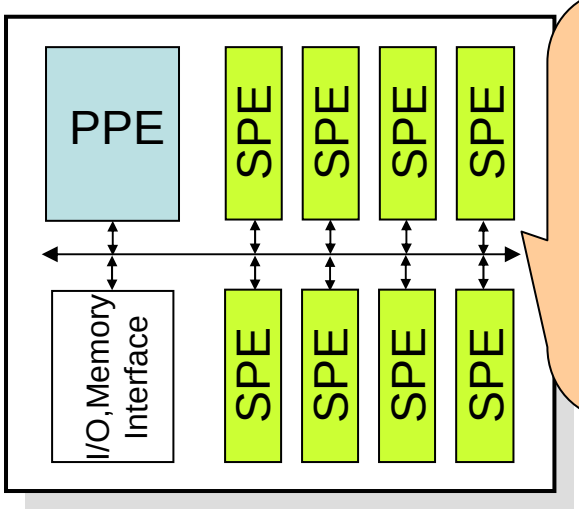
コンフィギャラブル・プロセッサ+ソフトウエア
・**MeP** (東芝)
・**UniPhier** (松下電器産業)

リコンフィギャラブル・プロセッサ+ソフトウエア
・**Redefis/SysteMorph** (CLUSS)

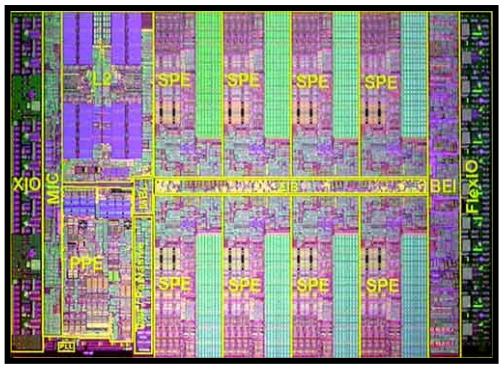
プラットフォーム・ベースによるSoC

～ CELL ～

CELL ブロック図

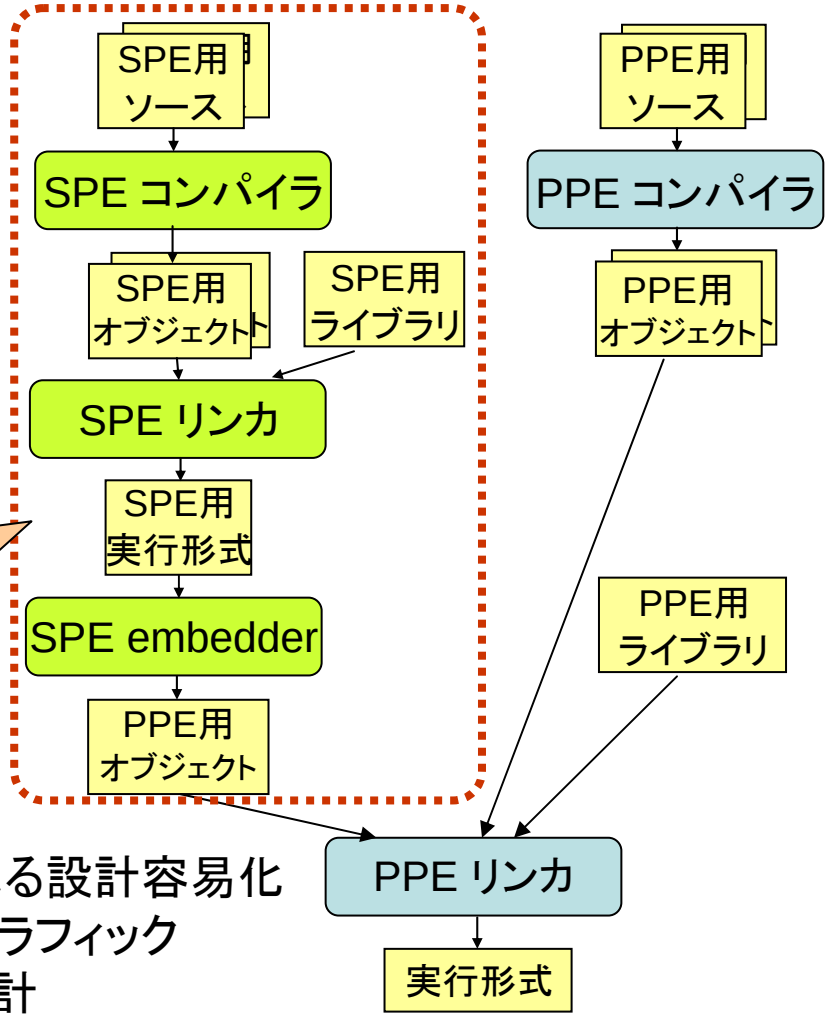


PPE:
汎用プロセッサ
SPE:
メディア処理、3Dグラフィックス処理に適した、専用プロセッサ



SPE用コードの生成

コンパイラ サポート



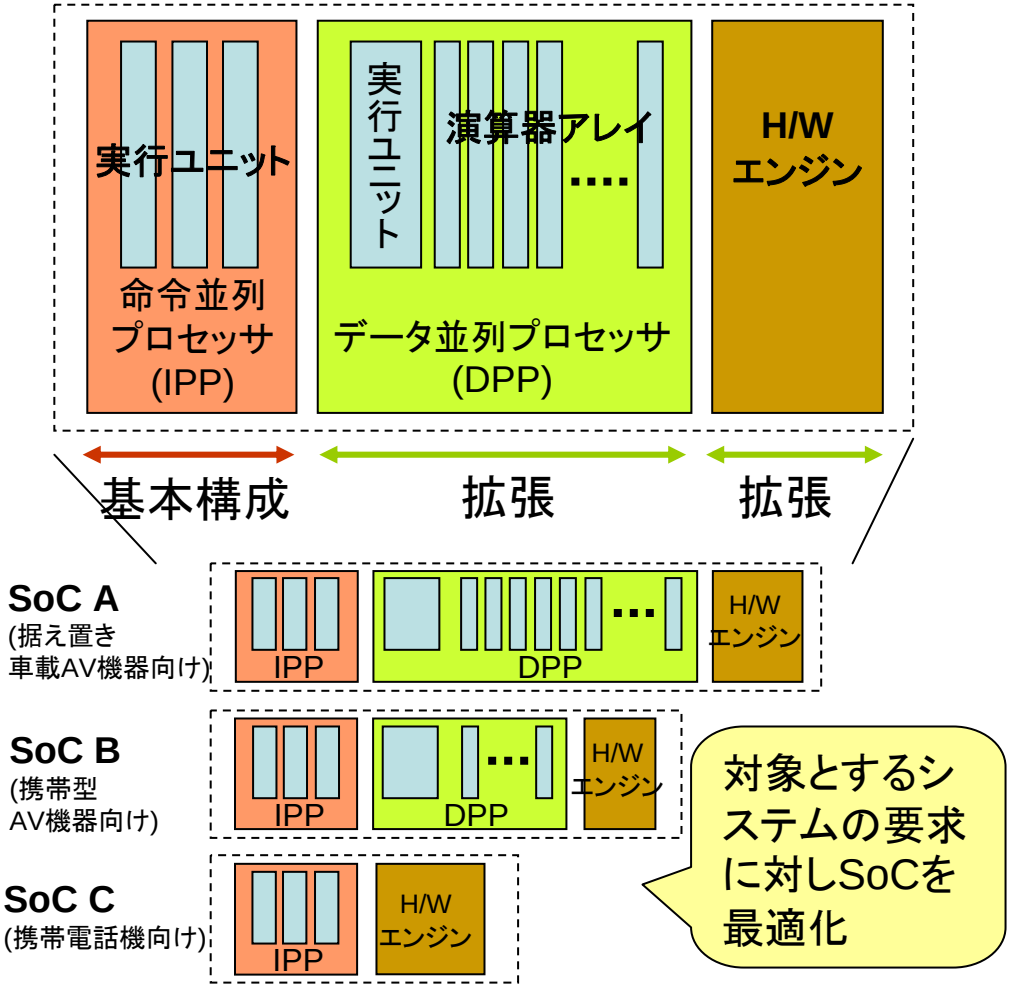
- プログラム開発による設計容易化
- メディア処理、3Dグラフィック処理等に最適化設計

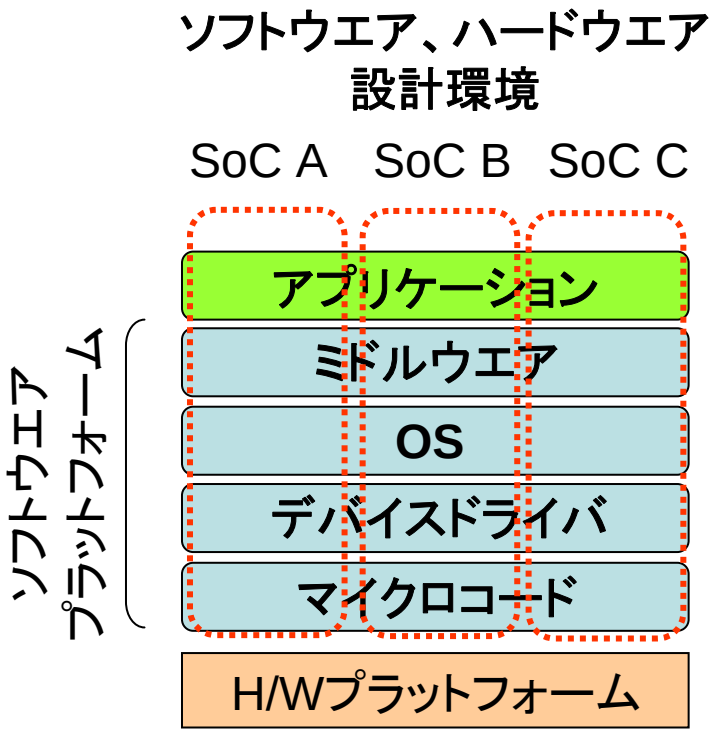
IBM System Journal, Vol 45, Num 1, 2006, “Using advanced compiler technology to exploit the performance of the Cell Broadband Engine (TM) architecture”
Hot Chips 17, ”A novel SIMD architecture for the Cell heterogeneous chip-multiprocessor”

プラットフォーム・ベースによるSoC

～ UniPhier ～

Uniphier ブロック図





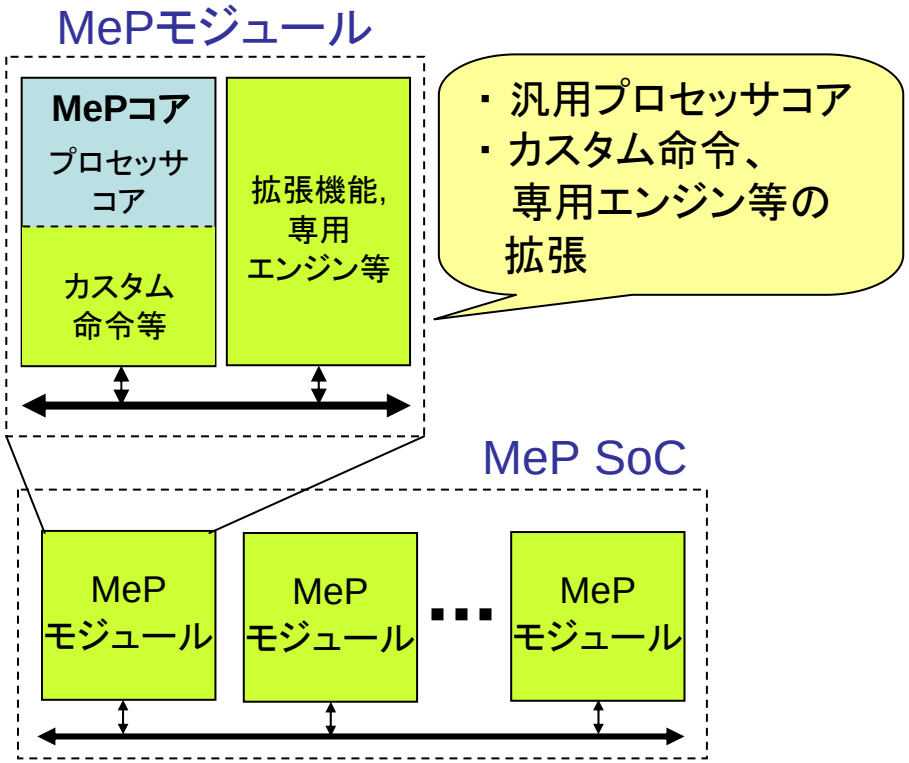
- 多様なシステムに向けたH/Wの最適化
- ソフトウエア開発の容易化

日経エレクトロニクス 2004.10.11,「ソフトウエア開発効率を重視したデジタル家電向けメディア・プロセッサを開発」

プラットフォーム・ベースによるSoC

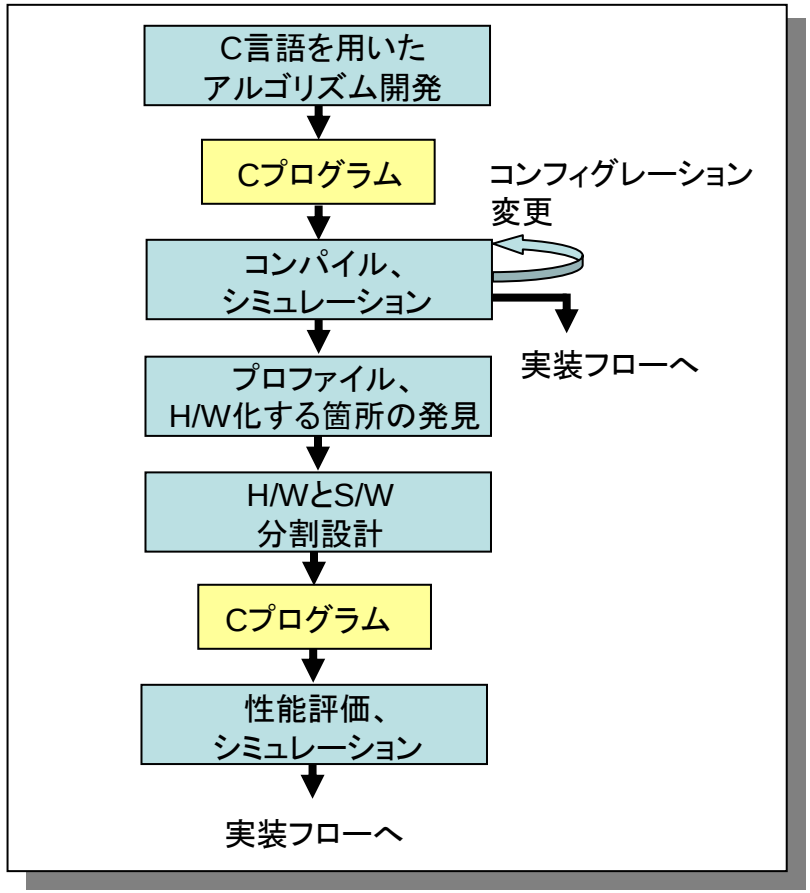
～ MeP ～

MePブロック構成



画像処理用に3つの
カスタム化されたMeP
モジュールと周辺機能
で構成

アプリケーション実装フロー



- 多様なシステムに向けたH/Wの最適化設計
- プログラムによる設計の容易化

IP Based SoC Design Workshop 2003, “Hardware/Software Partitioning Methodology for Systems on Chip (SoCs) with RISC Host and Configurable Microprocessors”
CICC 2003, “Visconti: Multi-VLIW Image Recognition Processor based on Configurable Processor”

プラットフォーム・ベースの各設計手法の比較

■ プロセッサ+ソフトウエア

☺ Cなど、プログラム言語を用いた開発による設計生産性の高い開発が可能

☹ アプリケーションを実装するハードウエア(命令セット)が固定

■ コンフィギャラブル・プロセッサ+ソフトウエア

☺ プロセッサの命令のカスタム化、H/Wの拡張によりアプリケーションに最適化

☹ カスタム化に対するハードウエア設計が必要、製造後の設計変更に対応しない

■ リコンフィギャラブル・プロセッサ+ソフトウエア

リコンフィギャラブル(実装する論理をソフトウエアで再構成可能な機能)を使う事で、

☺ カスタム化はSoCの製造後にも適用可能
開発の短TAT化、SoCの共通化による少品種大量生産化

☹ 再構成のために、面積、性能のオーバヘッドが必要

☺ 再構成機能を生かした高並列処理など、カスタム化による性能の向上が可能

☺ カスタム化命令では、プログラム言語との親和性が高く、Cなどを用いた
設計生産性の高い開発が可能

RedefisとSysteMorphによるSoCプラットフォーム

Redefis

SoCにおけるカスタムロジックの実装

- リコンフィギャラブル・プロセッサを用い、C言語で記述されたソースコードから自動的にアプリケーションにカスタム化した命令セットを生成し、プログラムを実行

SysteMorph

最適化設計の自動化

- プログラム実行をモニタし、最適化のヒントとなるプログラム箇所を発見、最適化を自身で適用

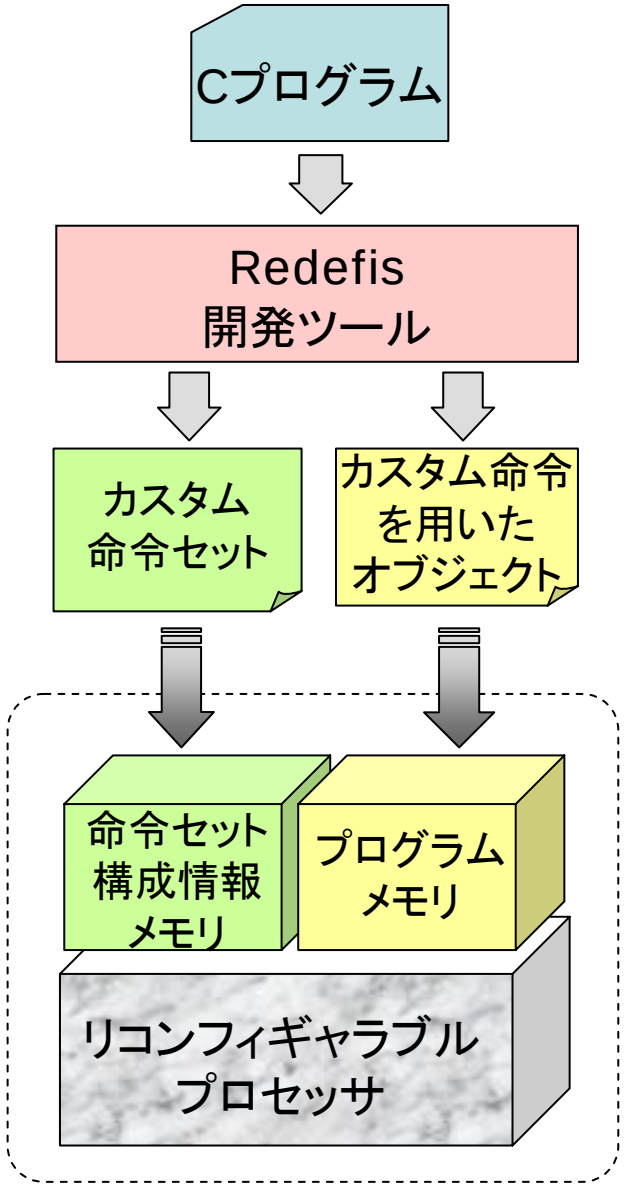
Redefisとは?

実装すべきシステム機能に応じて
ISA(命令セット・アーキテクチャ)を
「再定義可能」としたリコンフィギャラブル・
プロセッサ

設計者が、SoC上に実装したい
機能をC言語で記述

Redefis用の開発ツールにより
Cプログラムに応じ、プロセッサの
命令セットを自動的にカスタム化

実装したいシステム機能を
「専用プロセッサ+ソフトウエア」に
よる構成で実現



Redefisとは?

■ 性能向上

- アプリケーションに応じたカスタム命令セットの生成による高性能化

■ コスト、短TAT化への対応

- カスタムロジックをSoC上に実現する、プラットフォーム・ベース設計による開発の効率化
- C言語を用いたアプリケーションの実装開発による設計生産性向上
- リコンフィギャラブル・プロセッサにより、カスタムロジックをSoCの製造後に実装
  - SoC開発の短TAT化
  - 少品種大量生産化

RedefisとSysteMorphによるSoCプラットフォーム

Redefis

SoCにおけるカスタムロジックの実装

- リコンフィギャラブル・プロセッサを用い、C言語で記述されたソースコードから自動的にアプリケーションにカスタム化した命令セットを生成し、プログラムを実行

SysteMorph

最適化設計の自動化

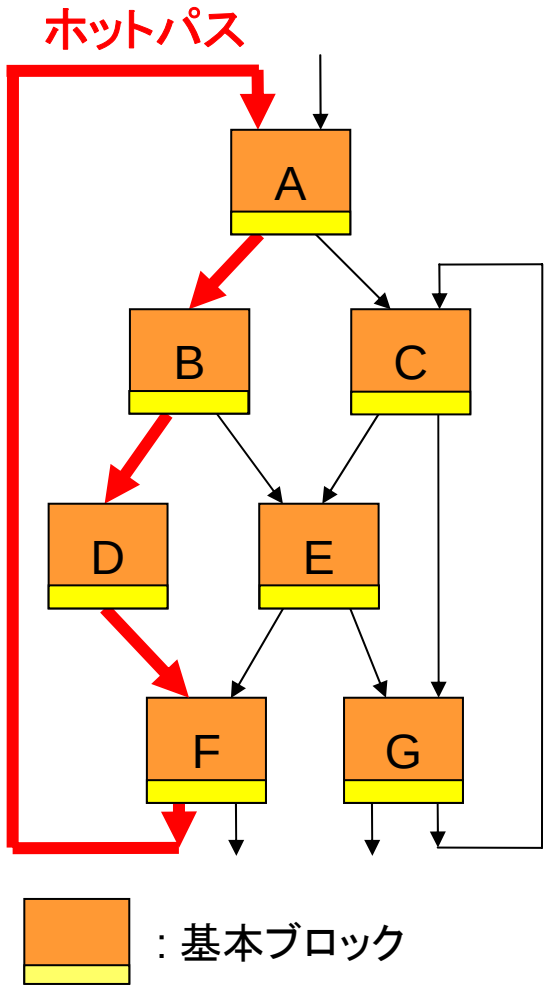
- プログラム実行を用い、最適化のヒントとなるプログラム箇所を発見、最適化を自身で適用

SysteMorphとは?
～ 最適化のヒントの発見 ～

■ ホットパス・プロファイリング

- ホットパス
  プロセッサによるプログラム実行で高い頻度で繰り返し実行される命令列

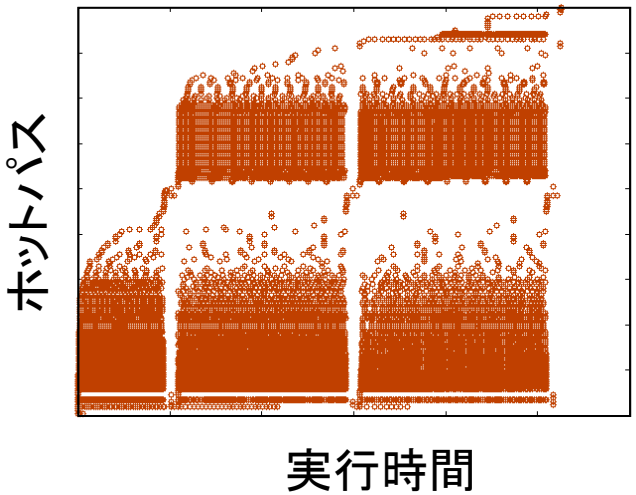
- ホットパス・プロファイリング
  プログラムの実行トレースを使い、ホットパスを推定



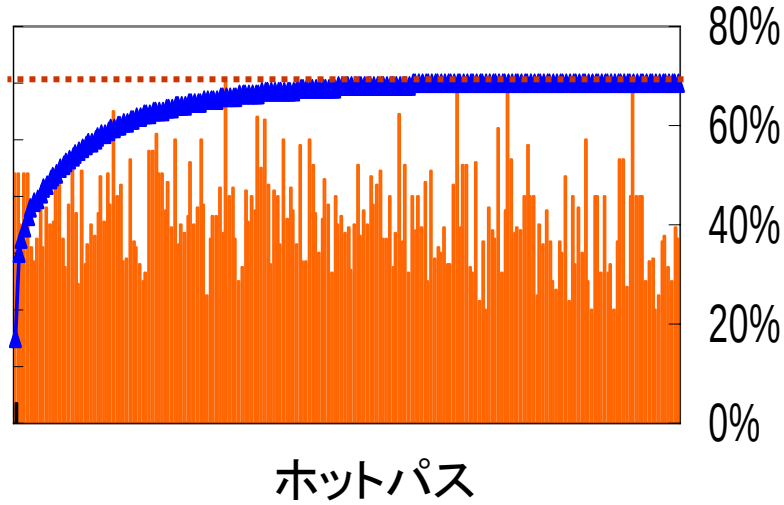
SysteMorphとは?
～ホットパスの検出～

- ホットパスの検出例
  - H.264エンコーダのホットパス

検出されたホットパス



ホットパスの
実行時間に占める割合



RedefisとSysteMorphによるSoCプラットフォームの応用
～ ソフトウエア無線用SoCプラットフォーム ～

①Matlab/Simulinkを用い無線アルゴリズムを開発
・無線用関数ライブラリ
・ブロック線図による開発
・コード生成

② Cプログラムに適したカスタム命令セットを生成
・ソフトウエアによる無線アルゴリズムの実装

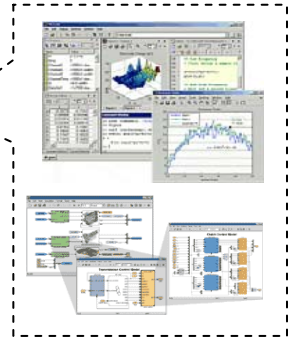
④ ホットパス情報による最適化
・カスタム命令の最適化
・S/W, H/W分割

③ ホットパス・プロファイリングによる最適化適用箇所の発見

Matlab/Simulink
無線通信アルゴリズム開発

H/W, S/W分割設計自動化

汎用処理



Cプログラム　HW記述　Cプログラム

Redefis開発ツール
SysteMorph最適化

H/W開発
IP適用

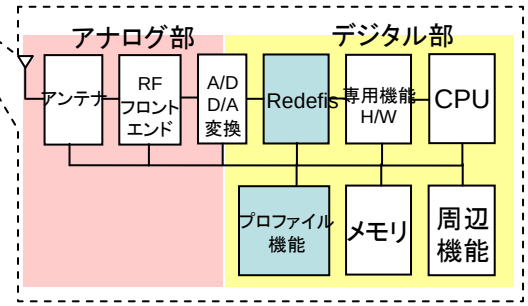
CPU用
開発ツール

ソフトウエア無線アーキテクチャ・プラットフォーム
性能シミュレーション
・プロファイル取得、性能最適化へフィードバック

ソフトウエア無線アーキテクチャ、及び評価環境

実評価環境

リコンフィギャラブル・プロセッサを用いた、ソフトウエア無線用SoC

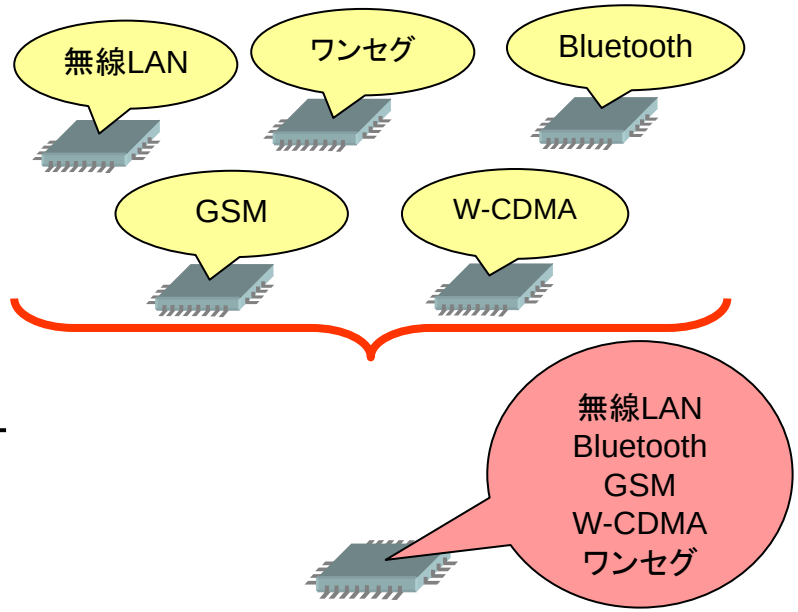


RedefisとSysteMorphによるSoCプラットフォームの応用 ～ ソフトウエア無線とは ～

無線通信では多数の規格が並存し、無線通信毎にSoC、それらを使った端末が必要

- ソフトウエア無線
  ソフトウエアを入れ替える事で、同じSoCで複数の無線通信規格を利用可能にする技術

- ソフトウエア無線用SoCの開発
  市場ニーズに応じた短期間でのSoC開発
  - SoC設計のプラットフォーム化
  - ソフトウエアによる柔軟性と
    ハードウエア性能の実現
    … リコンフィギャラブル機能を用いた設計

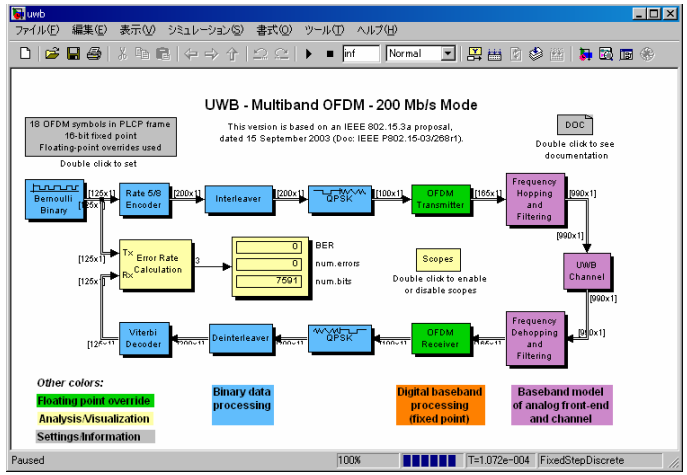


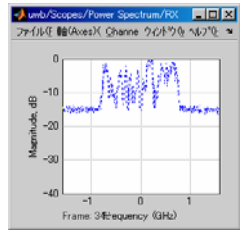
RedefisとSysteMorphによるSoCプラットフォームの応用 ～ Matlab/Simulink ～

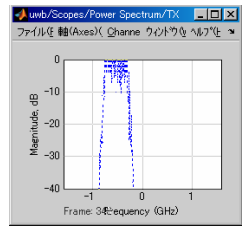
Matlab/Simulinkを用いた無線通信用アルゴリズム開発、検証

- 予めフィルタ、線形代数、解析などの無線通信向け関数が用意
- ブロック線図による直感的な開発、結果の可視化
- 構築されたモデルのCソース、ハードウエア記述のコード生成

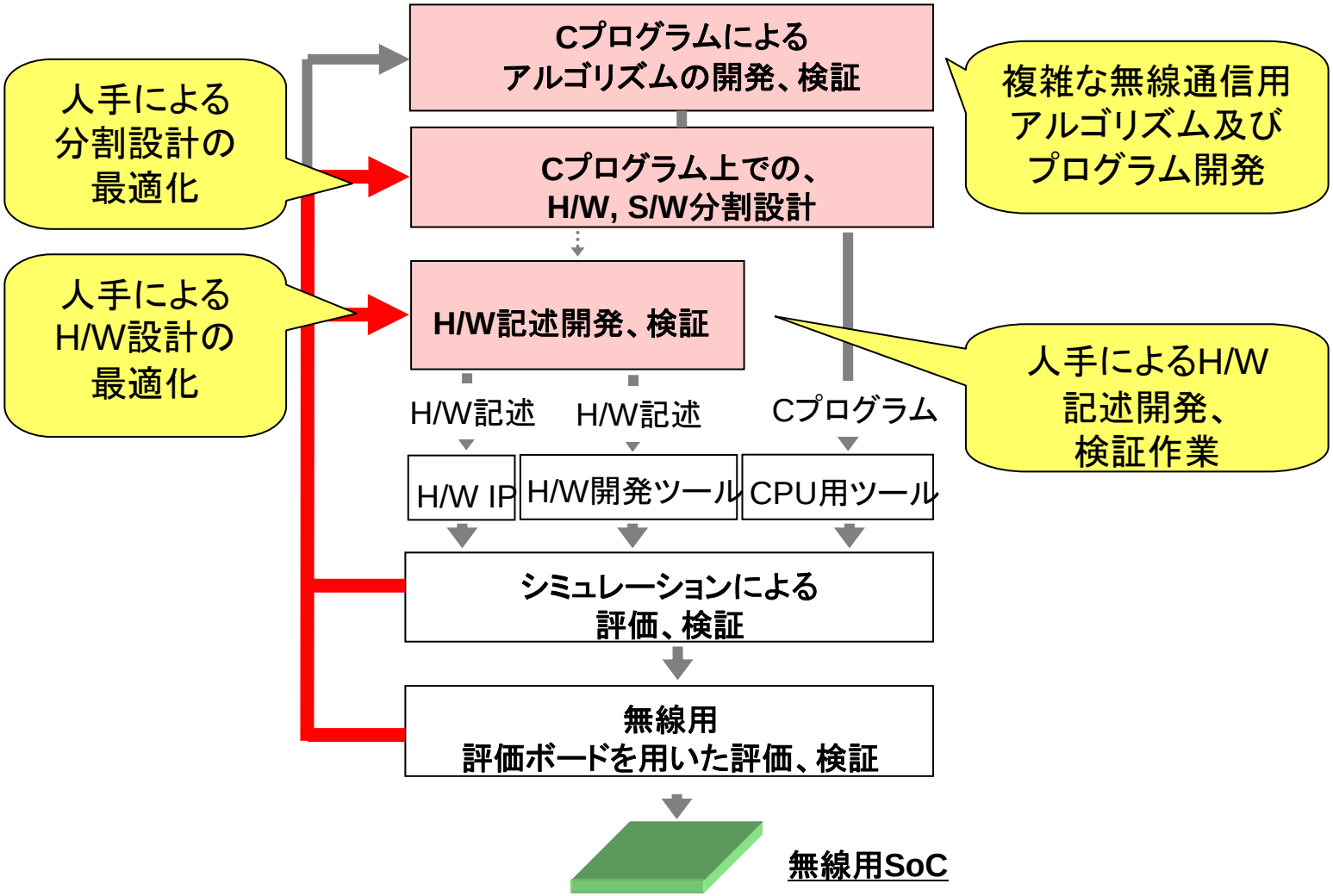
- 無線通信用アルゴリズム開発、検証の効率化
- コード生成





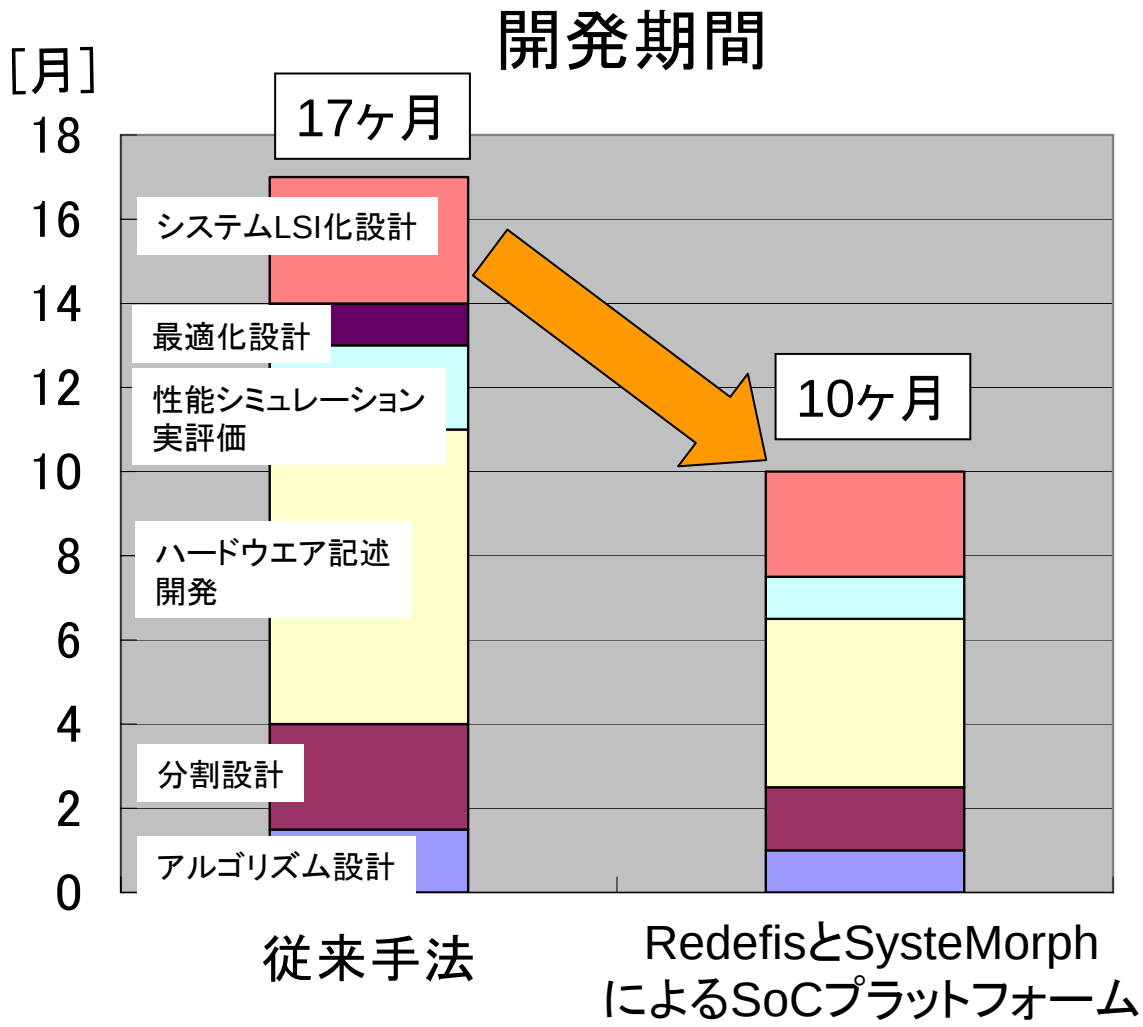


無線用SoCの開発
～ 従来手法 ～

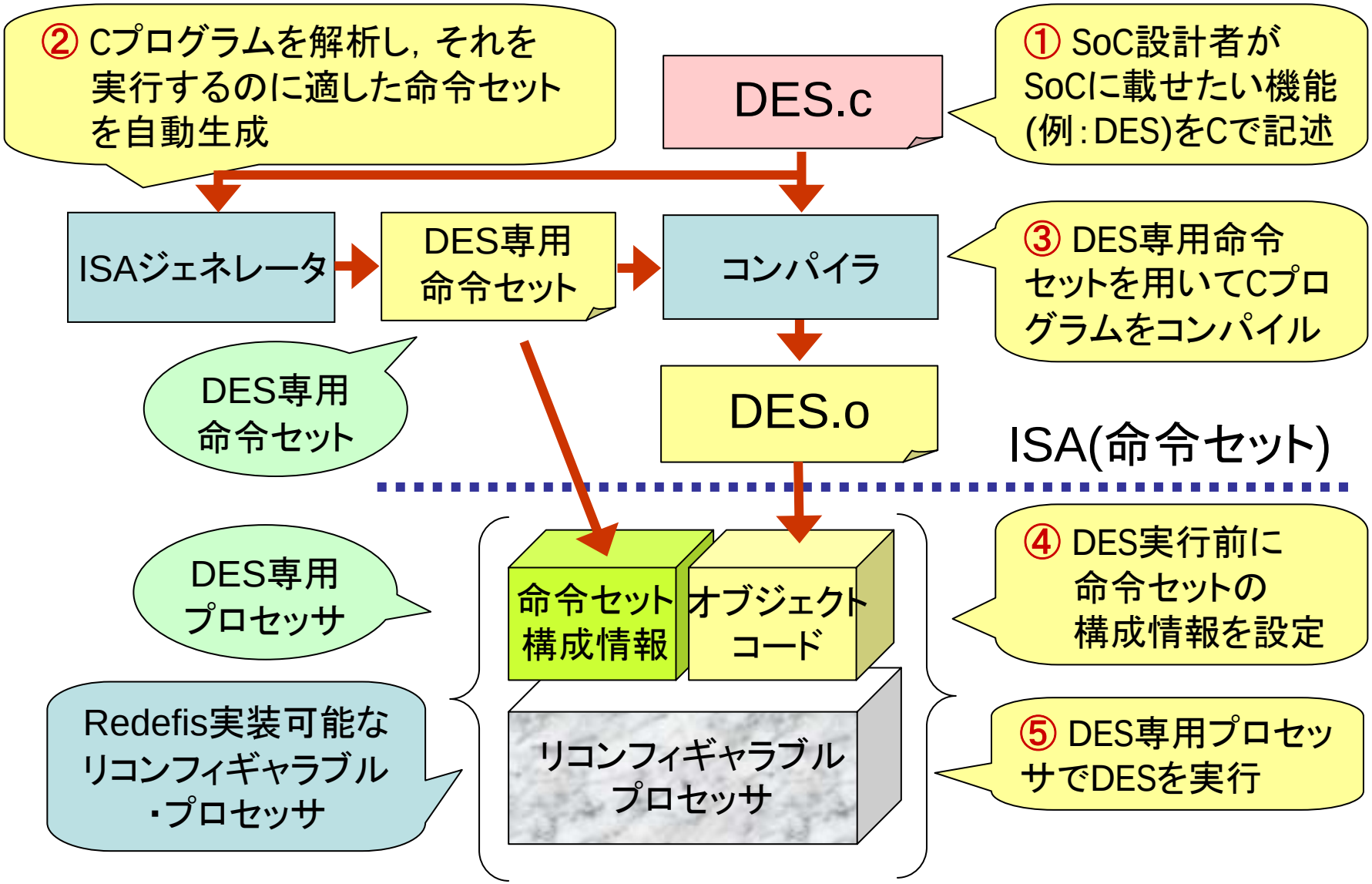


RedefisとSysteMorphによるSoCプラットフォームの応用 ～ 無線用SoCの開発期間 ～

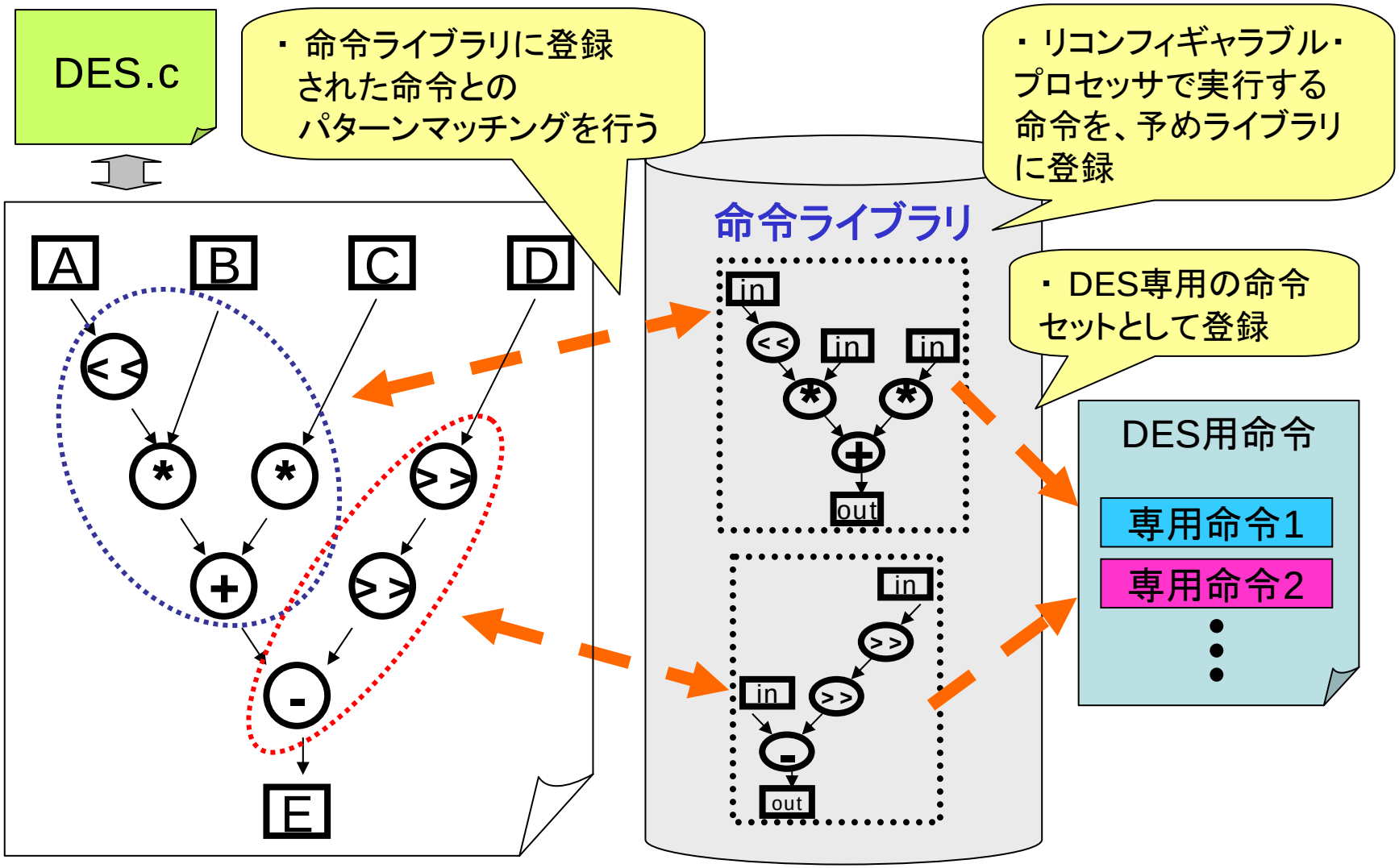
- 開発期間の試算



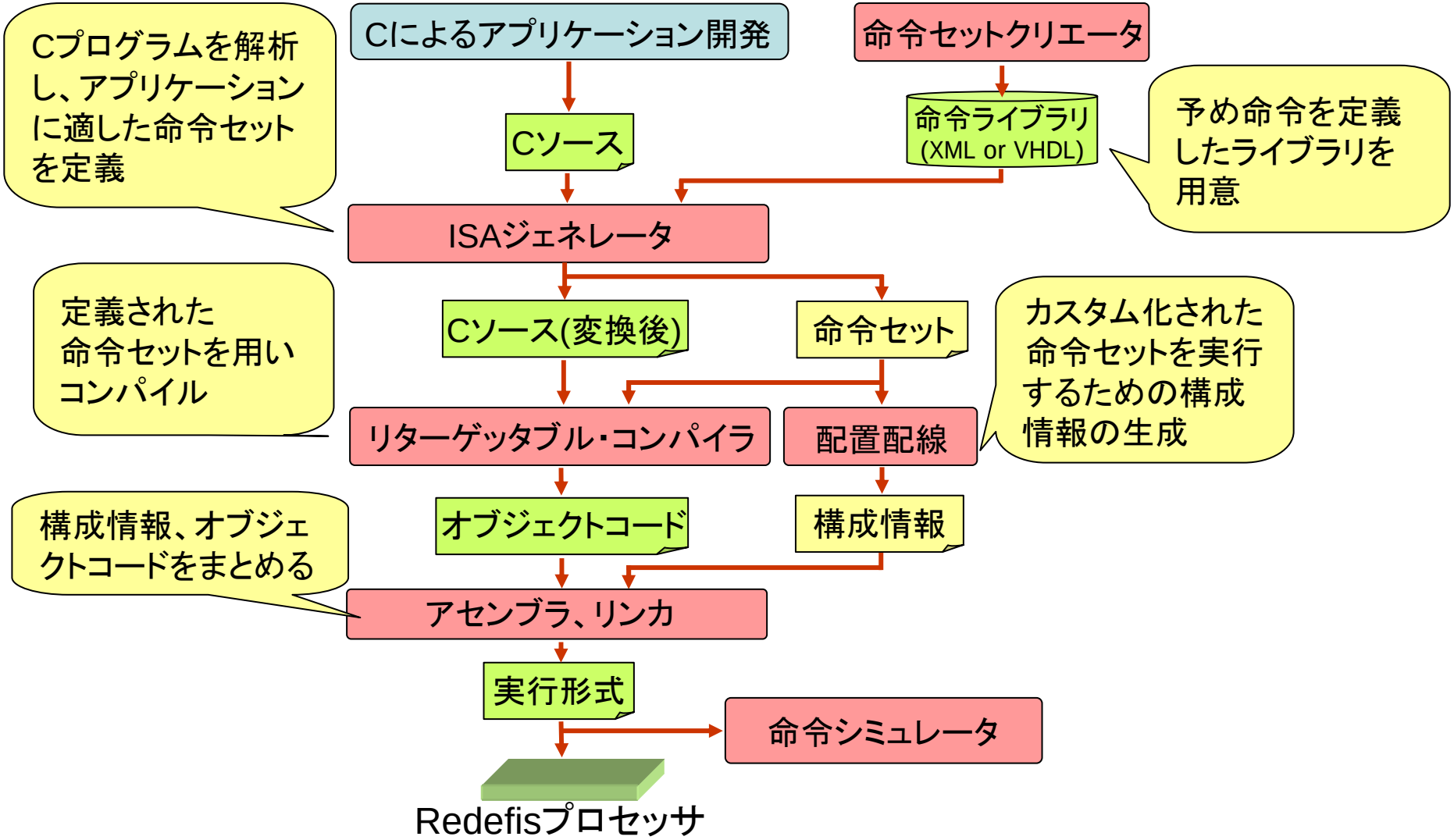
Redefisとは?


② Cプログラムを解析し，それを実行するのに適した命令セットを自動生成
DES.c
① SoC設計者がSoCに載せたい機能(例：DES)をCで記述
ISAジェネレータ
DES専用命令セット
コンパイラ
③ DES専用命令セットを用いてCプログラムをコンパイル
DES専用命令セット
DES.o
ISA(命令セット)
DES専用プロセッサ
命令セット構成情報
オブジェクトコード
④ DES実行前に命令セットの構成情報を設定
Redefis実装可能なリコンフィギャラブル・プロセッサ
リコンフィギャラブルプロセッサ
⑤ DES専用プロセッサでDESを実行

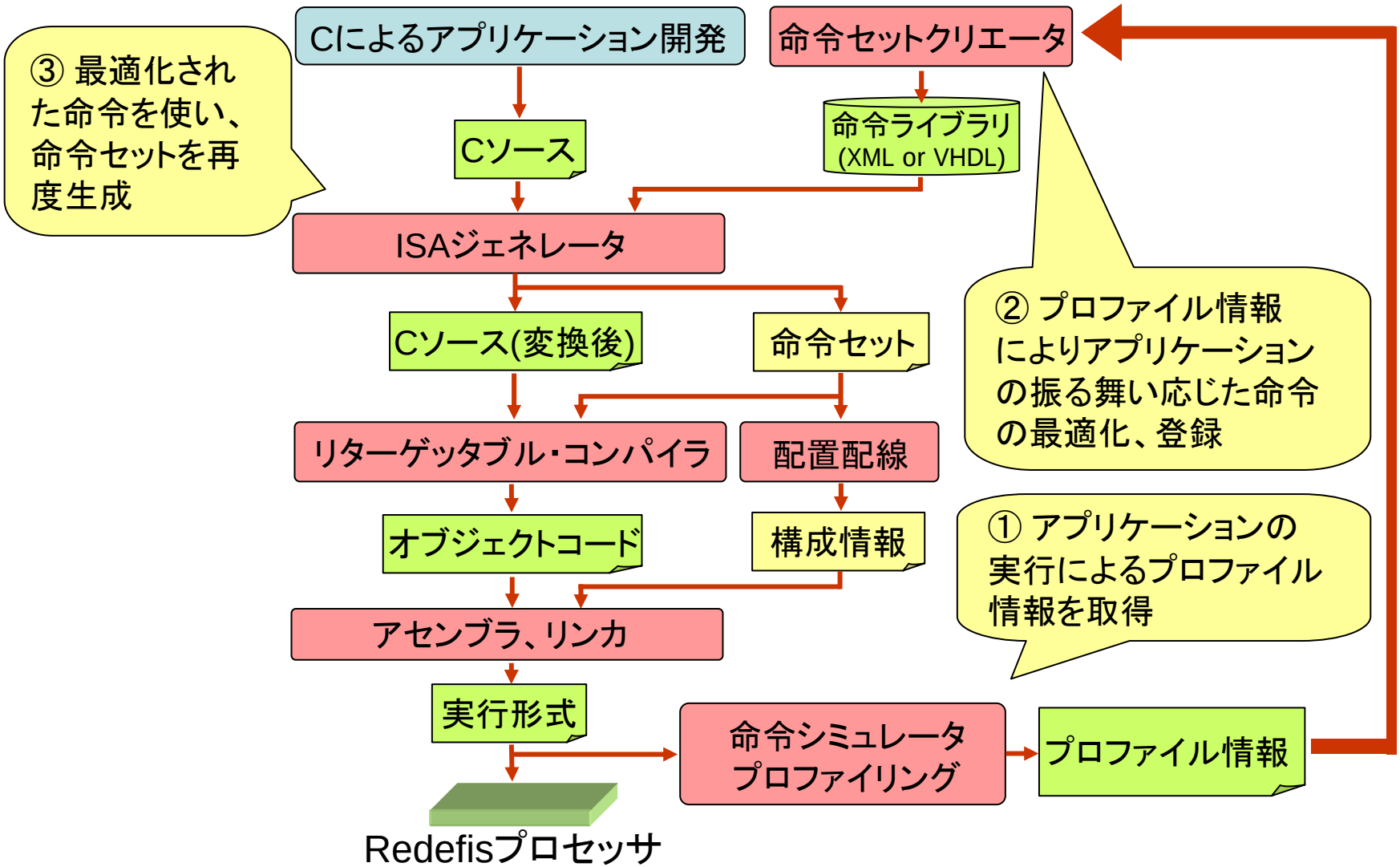
Redefisとは? ～命令セットの定義～



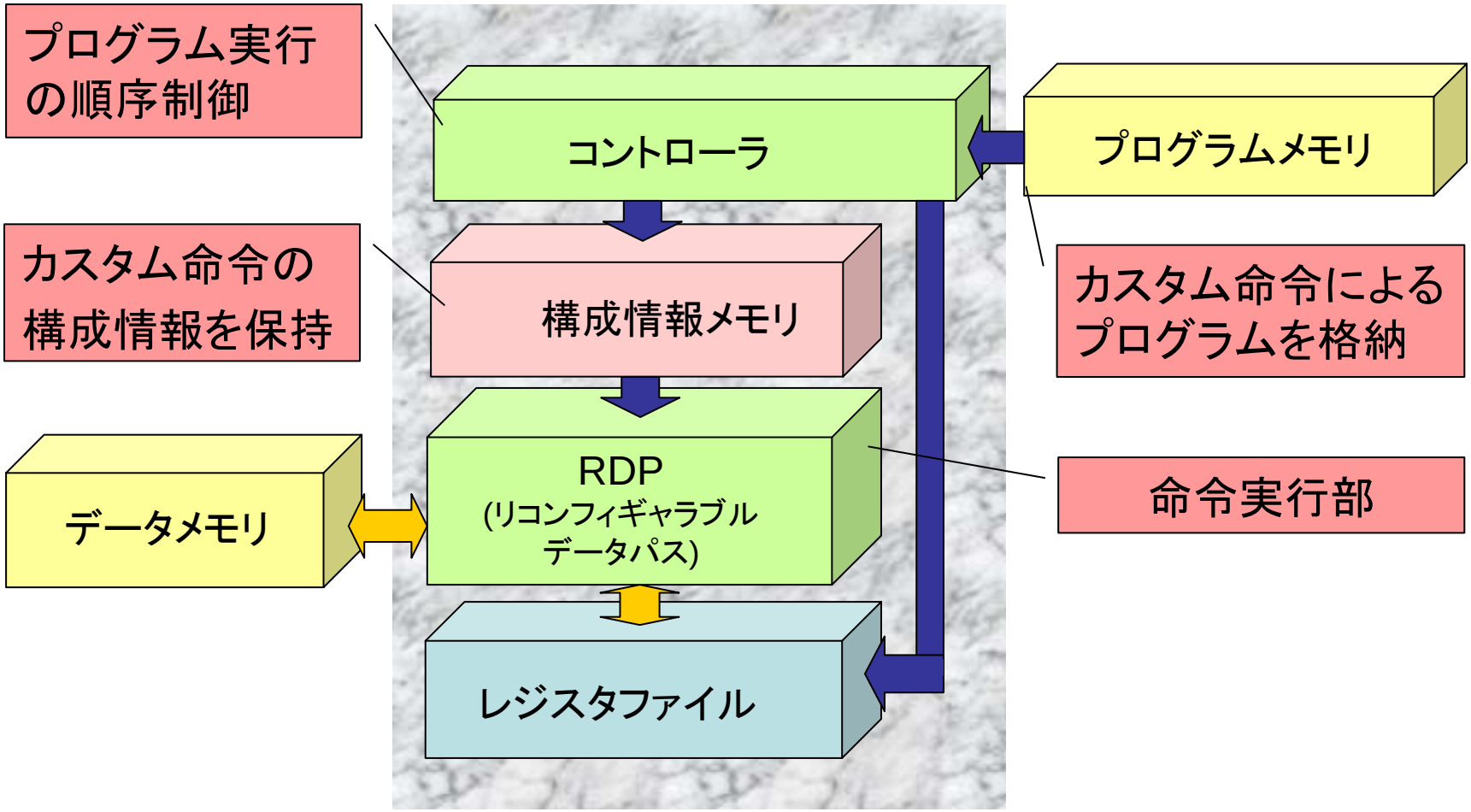
Redefis開発環境
～アプリケーション実装フロー～



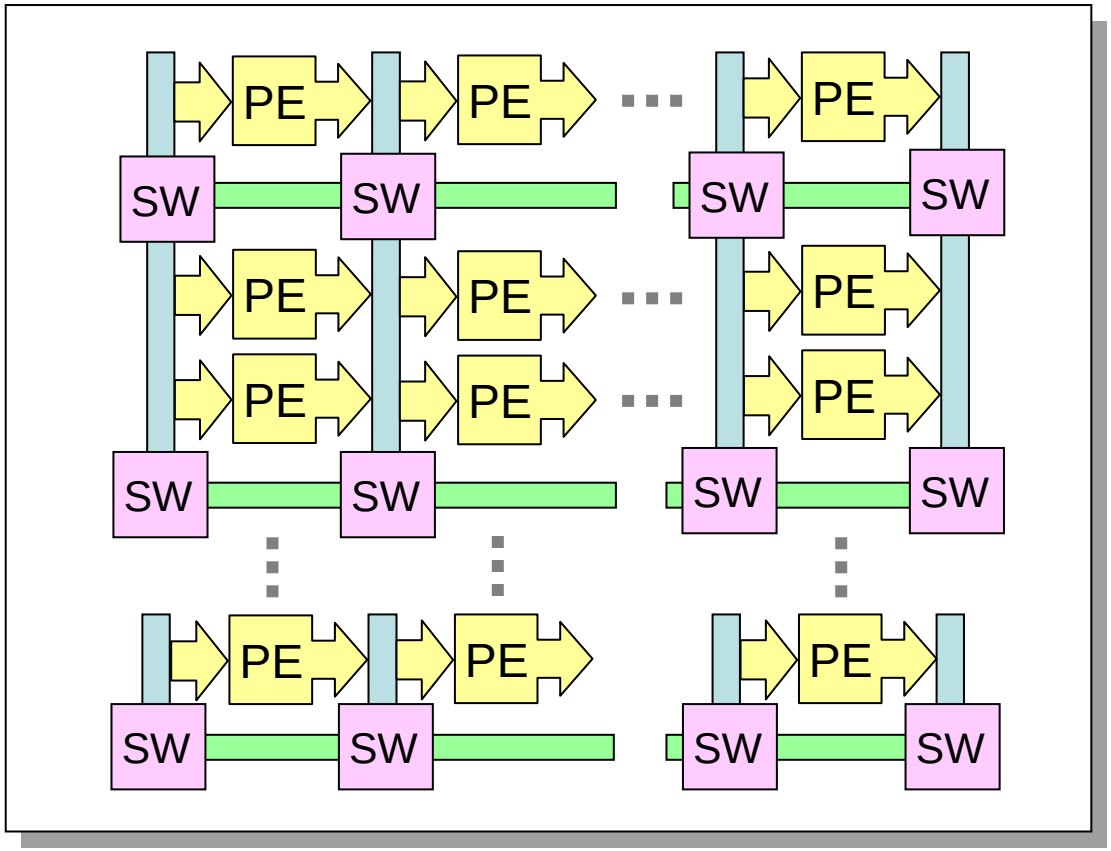
Redefis開発環境
～アプリケーション実装フロー～



Vulcan
～試作リコンフィギュラブル・プロセッサ～



Vulcan
～RDP(リコンフィギャラブル・データパス)部の構成～



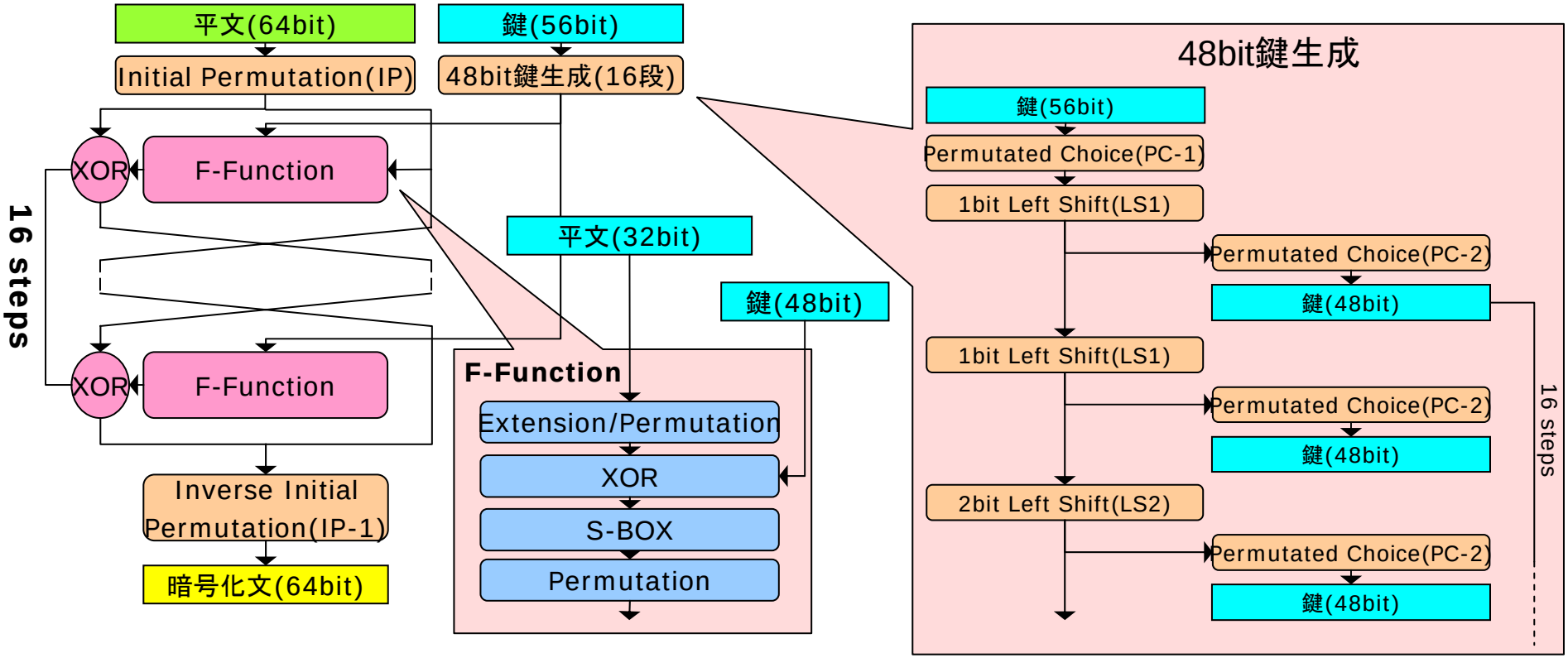
PE ：Programmable Element
任意の論理関数を割り当て

SW：Switch
垂直方向バス(64bit)と水平方向バス(64bit)のデータの受け渡しの選択

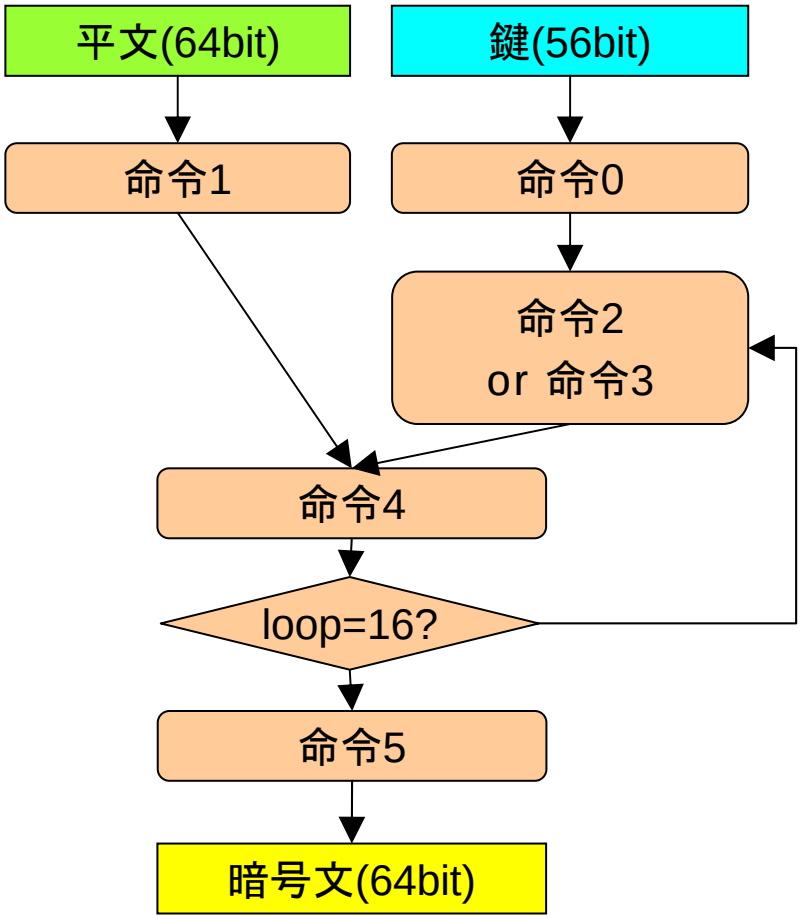
Vulcan LSI搭載ボード

アプリケーション例：DES暗号化

DES(共通鍵を用いた暗号化アルゴリズム)をCプログラムで記述し、Vulcanを用いてDES専用プロセッサを開発



Vulcan上でのDES暗号化処理



命令	内容
0	鍵の読込みと鍵の転置（PC-1）
1	平文の読込みと初期転置（IP）
2	1bit左循環シフト（LS1）
3	2bit左循環シフト（LS2）
4	縮約転置（PC-2）とF関数，および，XOR
5	逆初期転置（IP-1），および，出力

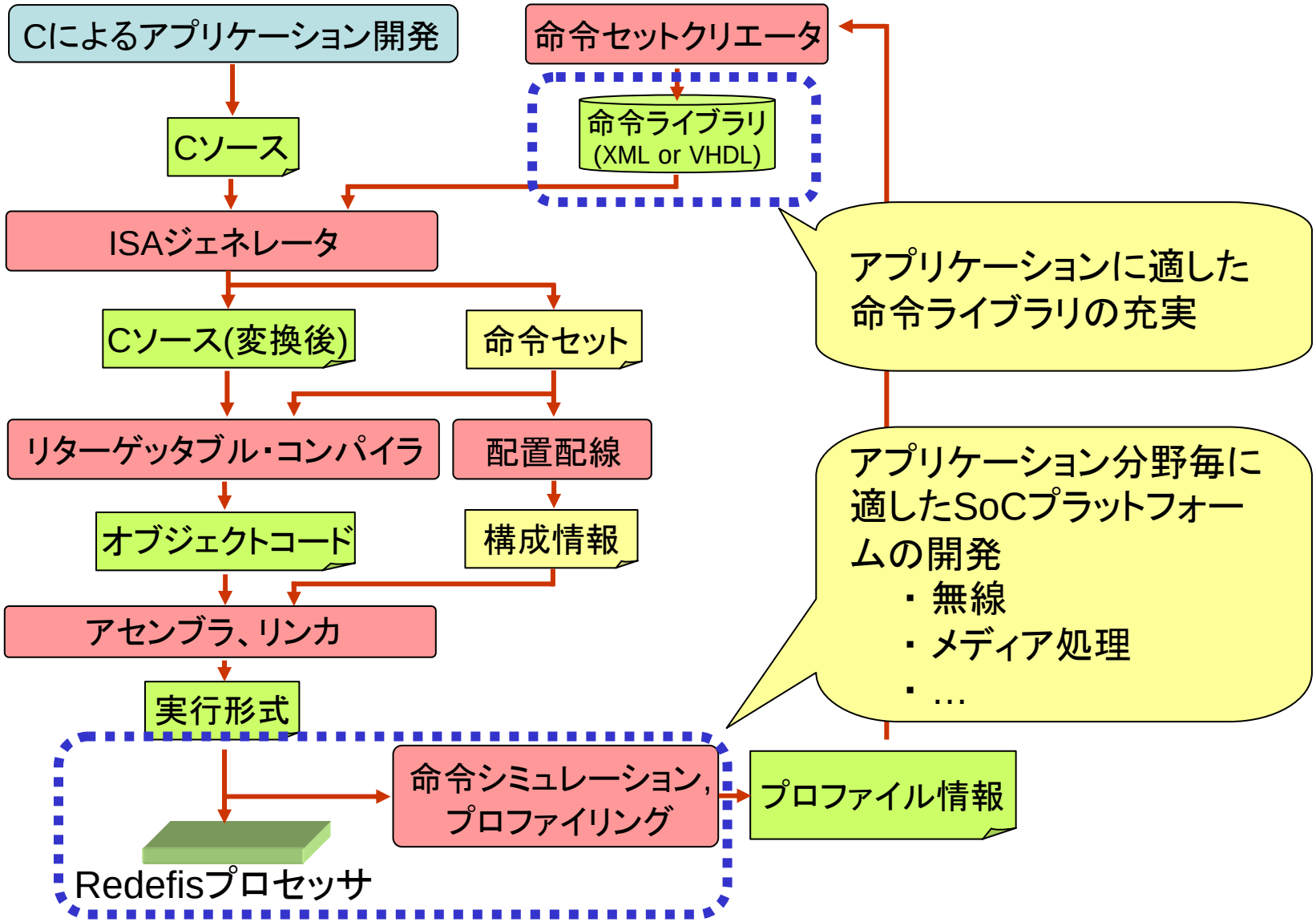
- オブジェクトコード・サイズ：24命令
- 実行命令数：35命令（1回の暗号化）

DES暗号化処理の性能比較

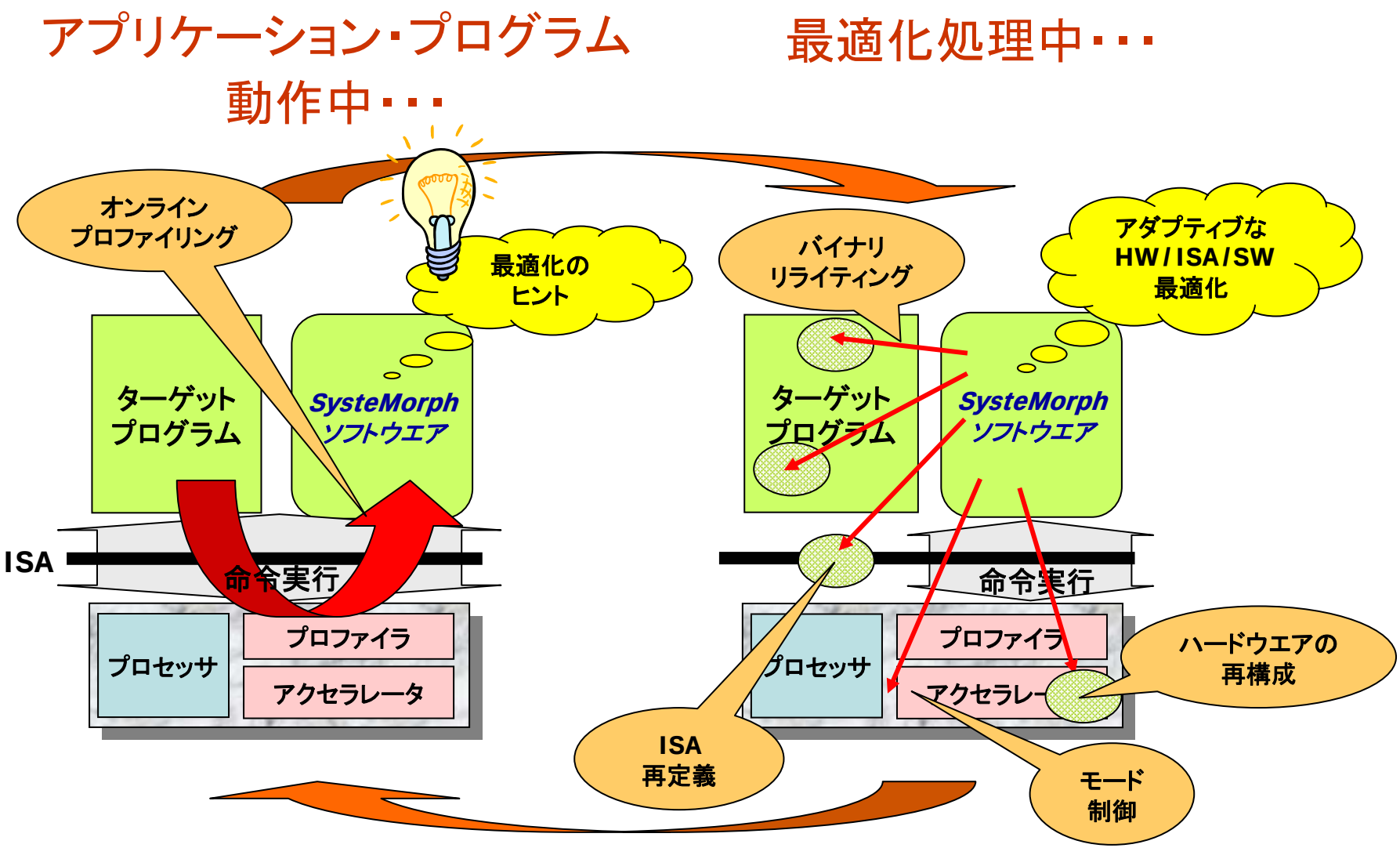
プロセッサ	動作周波数	スループット
Vulcan	6.25MHz	570KB/sec
Pentium4	2.4GHz	150KB/sec

- Pentium4でのDES暗号化処理
  - DES暗号化処理をC言語で忠実に記述したプログラムをコンパイルして実行
  - GCCバージョン：2.95.3
  - 最適化オプション：-O2

Redefis開発環境
～多様なアプリケーションへの対応 ～



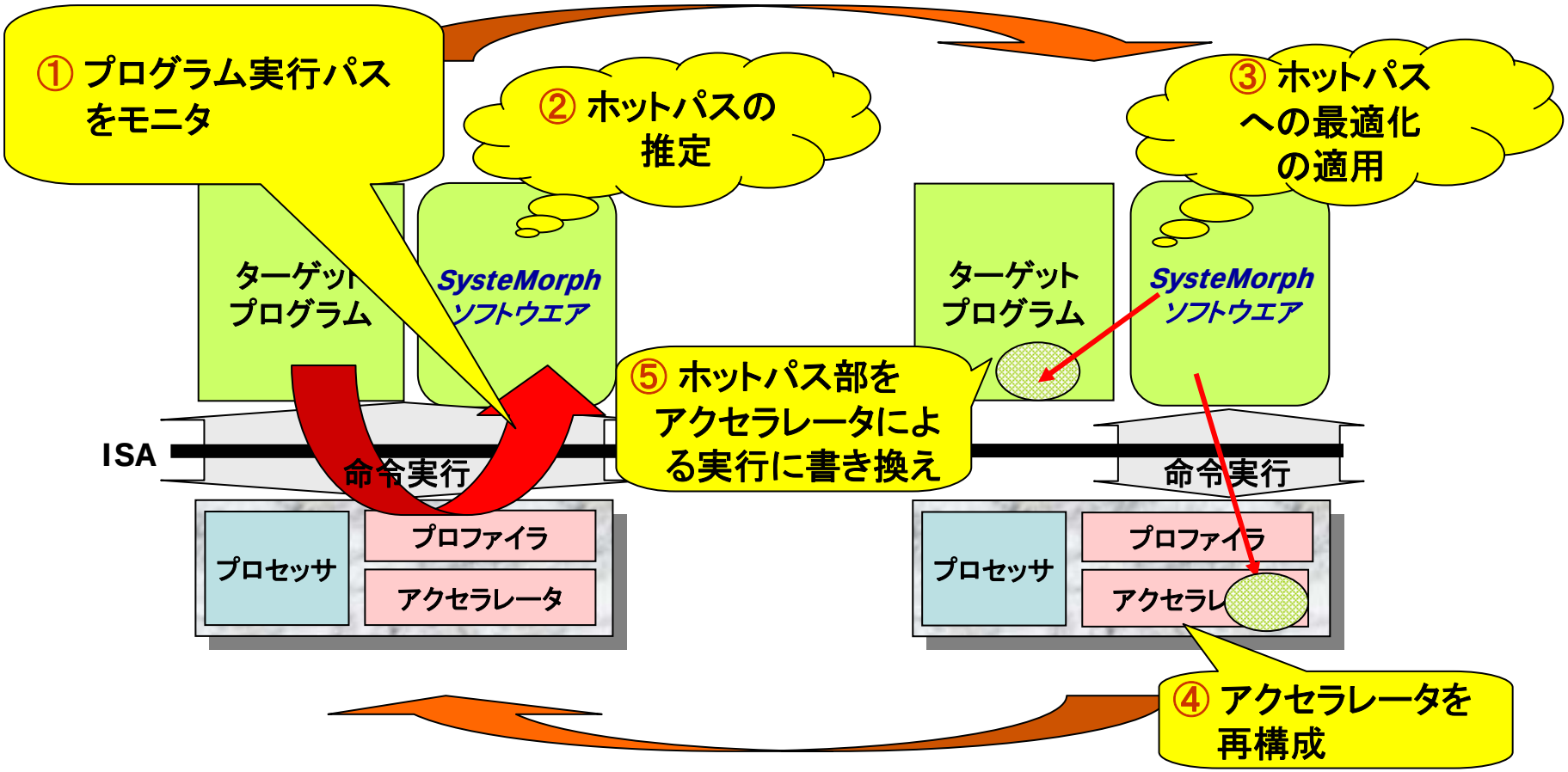
SysteMorphとは？



SysteMorphとは
～ 最適化の適用例 ～

アプリケーション･プログラム
動作中･･･

最適化処理中･･･

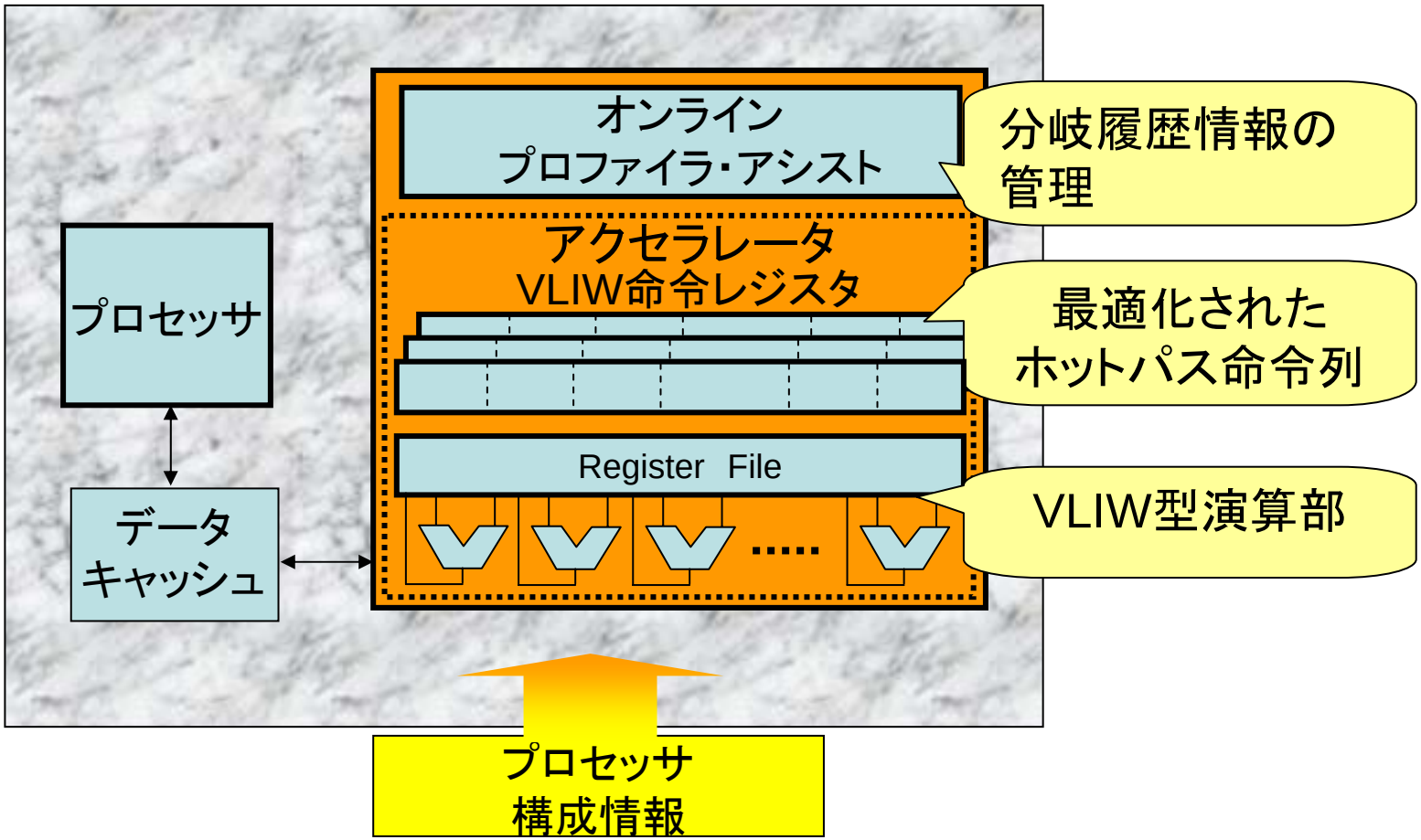


SysteMorphとは?

- SoCの最適化設計の自動化
  - SoCの設計時での最適化設計の自動化
    - Redefis/SysteMorphによるSoCプラットフォーム
  - SoCの出荷後、SoCの使われ方に応じ、SoCが動的に最適化
- プロファイリング情報の利用
  - ユーザ毎の最適化サービス
  - 次のSoC設計へのフィードバック
  - オンライン・セルフチェッキングによる対故障化、高信頼性化への応用

SysteMorph
～ 動的最適化可能なSoC ～

VLIW(Very Long Instruction Word)型
アクセラレータによる
SysteMorphプラットフォーム

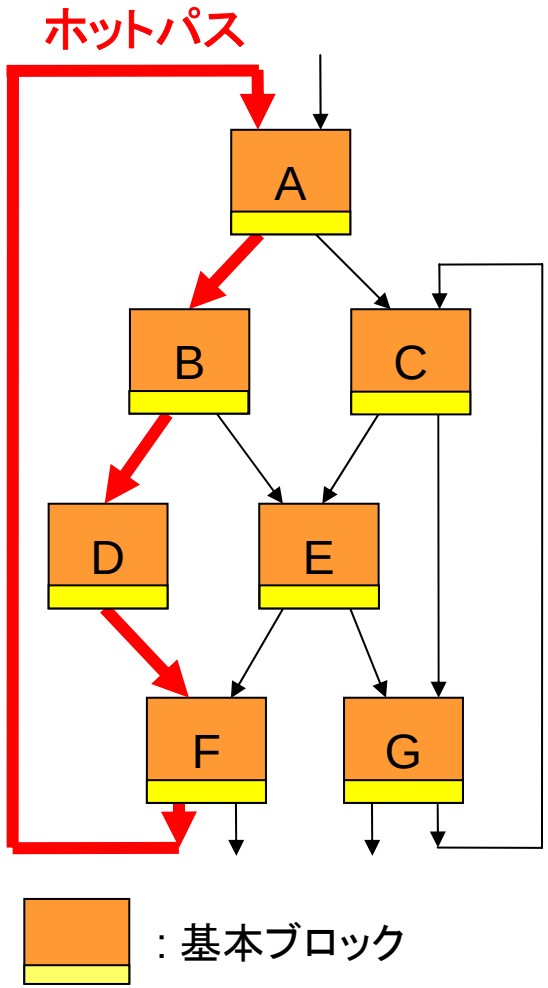


SysteMorphとは?
～ 最適化のヒントの発見 ～

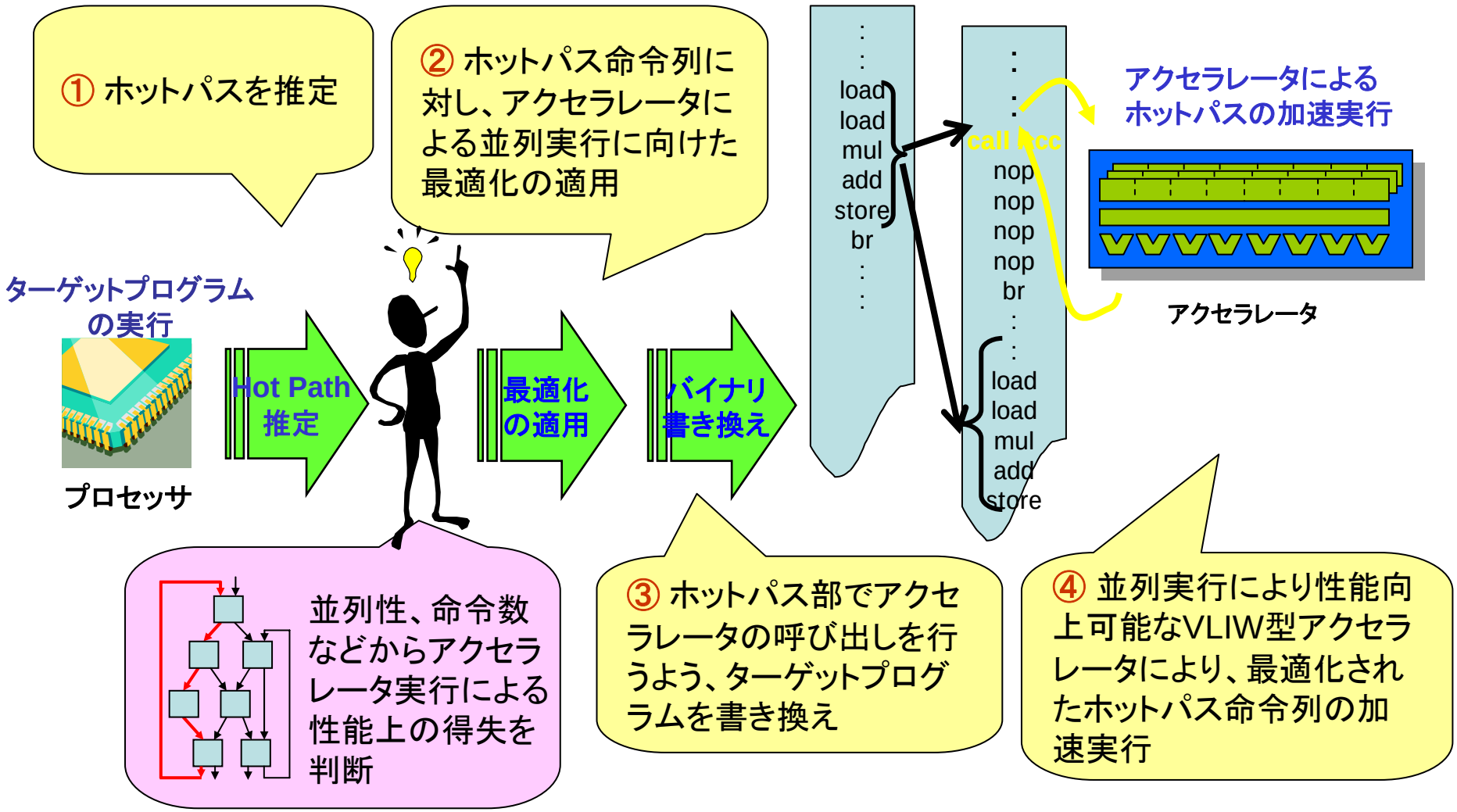
■ オンライン・ホットパス・プロファイリング

- ホットパス
  プロセッサによるプログラム実行で
  高い頻度で繰り返し実行される命令列

- オンライン・ホットパス・プロファイリング
  オンライン(プログラムの実行中)に
  プログラムの実行トレースをモニタし、
  ホットパスを推定



SysteMorph
～ 動的最適化の流れ ～



次世代SoCプラットフォーム
～ SysteMorphとRedefis ～

- Redefis
  リコンフィギャラブル・プロセッサを用いた、
  命令再定義型プロセッサ

- SysteMorph
  SoCの使われ方に応じ、SoC自身による最適化

- Redefis/SysteMorphによるSoCプラットフォーム

SoCが直面するコスト、短TAT化に応えるアーキテクチャ技術の開発、SoCの新たな付加価値を作り出す技術の開発

福岡知的クラスター創成事業

文部科学省 知的クラスター創成事業

本研究は「次世代システムLSIアーキテクチャ」の開発として、
- 九州大学
- ISIT(財団法人九州システム情報技術研究所)
- 共同研究企業
- 福岡IST(福岡県産業・科学技術振興財団)

の連携で実施されています